

広域機関システム融通指示支援機能の2023年度機能改良  
(詳細設計～リリース)に関する業務委託について  
(案)

広域運用センターの作業効率化および負荷軽減のため、広域機関システム融通指示支援機能の2023年度機能改良に関する開発について、詳細設計からリリースに至る開発業務を委託する。

本件の委託にあたっては、2017年4月に締結した電力広域的運営推進機関システム開発委託に関する基本契約に基づき、下表に示す件名にて別紙1-1のとおり注文書を発行し個別契約を締結する。

1. 契約先 株式会社日立製作所

2. 契約期間 契約締結日～2024年2月29日

3. 隨意契約の理由

現システムへの知見・理解があり、業務とシステムの整合性を担保できるのは開発業務委託先の株式会社日立製作所のみであるため、「会計規程」第23条第1項(1)契約の性質又は目的が競争入札を許さないときに該当する。

4. 契約の公表

「会計・調達業務の細則に関する規程」第24条の規定に基づき、契約締結後、契約件名、契約先、契約締結日及び契約金額を公表する。

5. その他

(1) 秘密情報の開示 有

秘密情報の契約先への開示にあたっては「電力広域的運営推進機関システム開発委託に関する基本契約」第36条の規定に基づき、適正に管理する。

(2) 再委託 有

再委託にあたっては「電力広域的運営推進機関システム開発委託に関する基本契約」第6条の規定に基づき、指定様式の「再委託承認申請書」を受領し、内容を確認済である。

表 契約概要

件名	広域機関システム融通指示支援機能の2023年度機能改良(詳細設計～リリース)に関する業務委託
目的	融通指示支援機能では、運用負荷軽減、処理性能対策、信頼性確保等を目的とした改良要望を課題管理表に集約している。この課題管理表を広域運用センターと共に精査し、今年度対応が必要不可欠である改良件名を2023年度機能改良として実施する。
契約内容	詳細設計、プログラミング、試験(単体・結合・総合・品質保証・立会)、リリース
契約先	株式会社日立製作所
契約期間	契約締結日～2024年2月29日
契約形態	委託契約(請負)

以上

**【添付資料】**

別紙 1-1 : 注文書「広域機関システム融通指示支援機能の 2023 年度機能改良(詳細設計～リリース)に関する業務委託」

別紙 1-2 : システム仕様書「広域機関システム融通指示支援機能の 2023 年度機能改良(詳細設計～リリース)に関する業務委託」

別紙 2 : 價格検討書「広域機関システム融通指示支援機能の 2023 年度機能改良(詳細設計～リリース)に関する業務委託」

別紙 1、2 は情報管理規程第 4 条(情報の格付の区分)の規定に基づき非公表とする。